

予 算 要 求 資 料

令和5年度3月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ施設管理事業費（指定管理）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ施設係 電話番号：058-272-1111(内2613)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 17,430 千円（現計予算額： 739,994 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	739,994	0	0	2,485	2,343	0	0	0	735,166
補 正 要求額	17,430	0	0	0	0	0	0	0	17,430
決定額	17,430	0	0	0	0	0	0	0	17,430

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・岐阜メモリアルセンターの非常用発電機が故障したため、復旧までの間、仮設発電機の設置が必要となった。
- ・消費税のインボイス制度開始に伴い、岐阜メモリアルセンター及び長良川球技場内の券売機等において適格な領収書を発行するための改修が必要となった。
- ・令和5年7月の落雷により岐阜メモリアルセンター各所の監視カメラ等に複数の被害が発生した。

（2）事業内容

指定管理者が実施した上記の対応に要する経費について、基本協定書に基づき県が負担する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	17,430	仮設発電機賃借14,850、インボイス対応1,435、落雷対応1,145
合計	17,430	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

指定管理者による施設の管理運営により、適切な維持管理や利用者サービスの向上を図り、施設の効用を発揮するとともに、より一層の施設の利用促進を進めていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①岐阜メモリアルセンター各施設の平均稼働率	59.9% (H24)	39.9%	43.8%	43.8%	43.8% (R9)	91.9%
②長良川スポーツセンター宿泊施設の利用者数	28,434人 (H22)	5,081人	27,550人	27,550人	27,550人 (R5)	18.6%
③グリーンスタジアムの利用者数	40,785人 (H17)	37,900人	41,000人	44,000人	50,000人 (R7)	75.8%
④岐阜アリーナの利用者数	300,894人 (H17)	76,984人	300,000人	303,000人	310,000人 (R7)	24.8%
⑤クリスタルパーク恵那スケート場の利用者数	55,463人 (H17)	46,082人	66,000人	66,000人	66,000人 (R8)	70.9%
⑥川辺漕艇場の利用者数	18,765人 (H23)	14,910人	17,000人	18,000人	20,000人 (R7)	74.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大により社会活動が大きく変容し、施設の利用様態も刻々と変わる中で、各施設とも適切な対応と管理運営を実施した。
令和3年度	引き続き新型コロナウイルス感染が拡大する中、各施設とも局面に応じた適切な感染防止対策を取りながら管理運営を継続した。 また、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、岐阜メモリアルセンター（濁河センター含む）及び岐阜県グリーンスタジアムでは、各国代表選手の事前合宿等の受け入れを行った。
	指標①～⑤ 上記のとおり
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	指定管理者による施設の管理運営によって、コスト削減や施設の弾力的運用による利用者サービスの向上へつながることから、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	指定管理者による施設の管理運営により、適切な維持管理や利用者サービスの向上を図ることで、利用促進が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	指定管理者制度を導入しており、施設の管理運営は効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の老朽化に伴う維持修繕が発生する可能性がある。 ポストコロナ社会の状況に応じた施設運営を行う必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 指定管理者制度を導入し、コスト面及び運営面において公の施設の管理運営の効率化が図られている点からも、引き続き事業を継続する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	無し
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	無し